

# みぶ町政だより



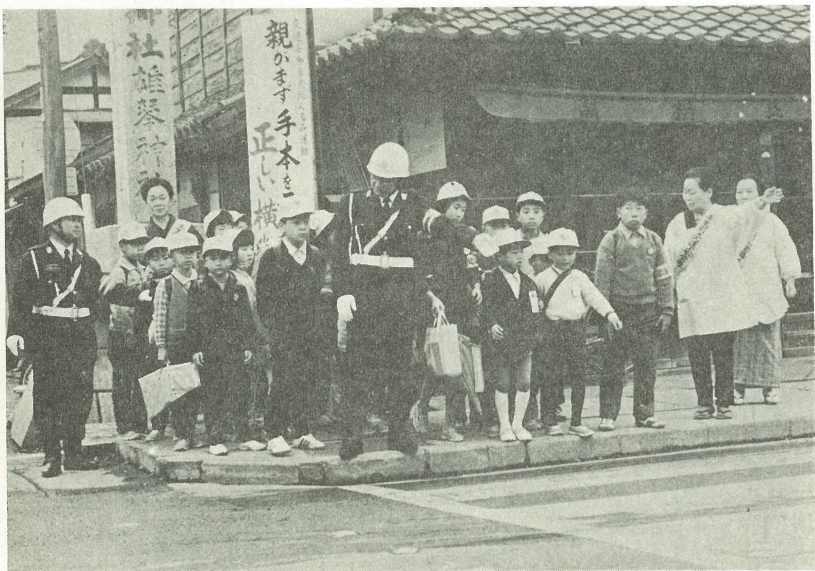
No.147

4 月号

発行所 栃木県壬生町役場

(毎月24日発行)

昭和46年4月24日発行



## 交通安全母の会が誕生

昨年の六月から九名の交通指導員さんが朝早くから交通安全の指導のために毎日活躍されています。

今や交通戦争といわれる今日、交通事故のない日はない状況です。このような事故から子どもを守るためには、やはり家庭内で交通安全についての話し合いが大切ではないでしょうか。

こんなことから町では、婦人の力をかりて、壬生町婦人会の方々約1,300名に「壬生町交通安全母の会」という組織をつくり交通安全、とくに各家庭内での「飲酒運転」「無免許運転」の追放などがわらいで4月1日に発足したものです。

同婦人会(水野シナ会長)では、これには積極的に協力され、さる4月5日から行なわれた前期の春の交通安全運動には、佐藤町長から贈られた「タスキ」をかけ、交通指導員とともに活躍されました。

### 今月の人口

総人口	25,993
男	12,829
女	13,164
世帯数	5,759



～自治会長さん今年もよろしく～

町内のみなさんと役場との行政的ないろいろの仕事をしてくださる自治会長さんが次のとおり決まりました。役場からのお願いや、みなさんからの要望などを円滑に処理できますようご協力ください。

46年4月15日現在

Table with columns: 自治会名, 会長名, 戸数, 班数. Includes sections for 壬生地区, 稲葉地区, and 南犬飼地区.

歌会始めのお題を募集

宮内庁では、昭和四十七年歌会始のお題および課題を次のとおり募集しています。お題は「山」で、歌の中に「山」の文字がなくても、たとえば富士アルプス、ヒマラヤなど、山の名があればよい。

書式は、半紙を横に二つ折りにして、右半面にお題と歌、左半面に住所氏名、本名（ふりがなつき）、生年月日および職業（具体的にくわしく）を書くこと。

送り返先 東京都千代田区千代田一番一宮内庁 封筒に「歌連歌」と書き添えて封入してください。

交通安全を身につけよう



かどを曲がる時には、こちらからくる車に注意する必要があります。いっしょに、手をとった教え方すなわち体験させることが大切で、しつけの内容としては、まず道路の歩き方、歩道と車道の区別のあるところでは歩道で、区別のないところでは右側の歩道を歩くこと。

入学おめでとう

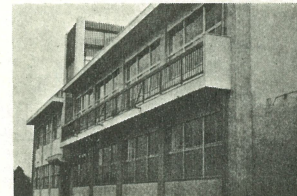
壬生町管内の小学校および中学校では、四月八日、九日の両日にそれぞれ入学式が行なわれました。式場には、新入生の顔が明るく伸びやかな姿で、また、父兄たちも喜びに満ちた姿で、花が咲いたようなやかな入学式でした。



- 今年の新入生は、小学校では四〇七名、中学校では四七五名がそれぞれ入学されました。各学校の入学生は次のとおりです。
【小学校】
壬生小 一五五名
藤井小 一四名
東小 八九名
福生小 四八名
羽生田小 一六名
北小 三七名
安塚小 四八名
【中学校】
壬生中 一三六名
福生中 一〇三名
南六飼中 一三三名

犬飼中の校舎が完成

昭和四十五年度の事業として、町立南六飼中学校の校舎の増築がこれほど完成し、その落成式が三月二十六日午前十時に行なわれました。この事業は、昭和四十四年度で一階の二二二平方メートルを建設し、今回の事業で二階の三三六平方メートル（二階一部を含む）ができました。これによって新しい校舎に六教室ができ、新学期から一部の生徒が使用しています。



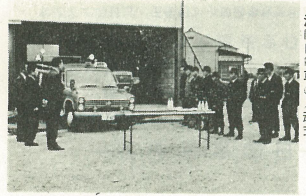
火災や救急車は普通電話.....一九番
普通電話.....〇一九番
救急車.....一・九と回。
農薬電話の場合は、最初〇を回してから一・九と回す。
火災を見つけたら電話で「ここが火事、どんな状態で燃えている」と緊急に知らせてください。
救急車の要請は「場所、原因、状況」をはっきりお知らせください。
救急車は今度役場の消防組合が出勤します。
つばにできた犬中校舎

救急車出動状況

Table with columns: 件数, 死者, 傷者, 急患. Includes a note: ヒヤーツとしたあの一瞬を 忘れるな

交通安全の日

毎月1日は 栃木県の交通安全日
毎月第3水曜日は 壬生町の交通安全日
せめてこの日は、壬生町から交通事故を出さないようにしましょう。



消防自動車の入庫式

農地の権利移動の許可権が大幅に農業委員会へ

現行法では、賃借権または使用貸借による権利移動は農業委員会が、所有権などの権利移動は知事が、それぞれ許可権をもっているが、それが今度の改正では、農業委員会の管轄区域内に居住する農家が、その区域内の農地権利を取得する場合にば農業委員会が、その他の場合には知事が、それぞれ許可権をもつというところ(改正三條)。

消防車を購入

消防機能のもつ重要な消防自動車を購入した。これは、第一分団第二部に佐藤消防長から配属されました。

農委の権限大幅に拡大

賃借権の解約制限を緩和

いまの制度では、小作地を返してもらうときは知事の許可がなければ返して貰えず、その場合、知事は法で定められた理由に沿ったときだけにしか許可することができないことになっている。

人事消息

役場職員(カッコは旧)
四月一日付
▽第一保育所長 渡辺元作(第三保育所長)
▽第三保育所長 宇賀神要(民生課主事)
▽総務課文書広報係長 山口三男(同主任)

▽第一保育所長 渡辺元作(第三保育所長)
▽第三保育所長 宇賀神要(民生課主事)
▽総務課文書広報係長 山口三男(同主任)

▽稲葉小学校 稲葉登美(壬小)
▽北小学校 鈴木祥子(藤岡小)
▽新生田小学校 岡野子(福小)
▽早乙女キョ(羽小)

犬を飼っている方へ

第一回春季狂犬病予防注射と犬の登録を次のように実施しますから犬を飼っている方は、最寄の会場に必ずずつてきてください。



Table with columns: 実施月日, 実施時間, 実施場所. Lists vaccination dates and times for various locations like 壬生町中央公民館, 呉羽合織KK, etc.

◇毎年登録は一回、注射は二回受けねばなりません。
◇いらぬ犬は、廃犬引取場へ持参しましょう。

商工業者の方はご利用ください

経営の近代化を図る一手段として、設備投資を行なう必要がある場合、商工業者のみなさんの資金調達を容易にするため諸々の融資制度があります。

Table with columns: 名称, 融資対象業種, 融資対象設備, 融資金額, 融資期間, 年利率, 申請期間. Lists various financing programs like 店舗改造資金, 小口資金, etc.

注 申込用紙は経済課商工係または商工会に用意してあります。

お知らせ



晩霜警報にご注意

お霜による農作物の被害は毎年多いようです。しかしながらこの災害は、事前に予知できるし、しかも有効な手段方法をとれば未然に防止することができず。

そこで、役場経済課では、晩霜警報が出た場合は、花火を打揚げてみなさんにお知らせしますから、すみやかに防止策をすようご注意ください。

◇打揚げ期間 五月十五日まで  
◇打揚げ場所 福和田橋付近  
◇時間 午後八時  
◇その他 (連続二発打上)

◇その他 宇都宮県警よりラジオその他により、予告注意報(午後三時)注意報(午後五時以降)が発表される。

5月の納税  
お忘れなく  
国民年金  
4・5・6月分

乳児検診

昭和四十五年五月一日以降に生まれたお子さん。

○とき 五月二十五日、二十六日、午後二時三十分

○ところ 中央公民館

該当する地域は、  
二十五日 下表町、中表町、下横町、今井、上表町、東下台、城東町、舟町、栄町、仲通町、上通町、三好町、旭町  
二十六日 野町、上新町、下馬木西高野、城内、城南、馬場、原宿田向、上坪、前宿坪、台坪、星の宮、至宝町、六美町、ひびりヶ丘

○日 程 五月二十一日  
◇二十六日

○場所および時間  
役場本庁 九時三十分まで  
南犬飼支所 九時四十分まで  
福葉支所 十時まで

側溝をきれいにする

道路の改良舗装などに伴って、側溝が整備されてきました。しかし、特に最近、側溝がゴミや家庭用汚水の排出によって汚れています。これが臭くなって来ますと悪臭や蚊発生源となります。

○日 程 五月二十一日  
◇二十六日

廃犬引き取り日

○日 程 五月二十一日  
◇二十六日

○場所および時間  
役場本庁 九時三十分まで  
南犬飼支所 九時四十分まで  
福葉支所 十時まで

妊婦検診

壬生町に居住する全妊婦が該当します。

○とき 五月十七日  
○ところ 母子健康センター

○時間 午後一時二十分～一時三十分

県税は農協で取り扱いを

★四月から地域の農業協同組合が、県税代理金融機関の指定を受け、県税を取り扱ふことになりましたのでご利用ください。

★自動車解体したり、老朽のため使用できないときは、すぐに県税事務所へご連絡してください。

○善 意 銀 行  
壬生町城南の壬生小学校六年生 藤下美代子さんは、善意銀行へ金五九四円を寄付されました。

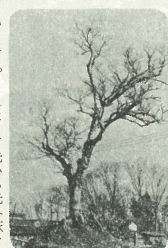
このお金は藤下さんが、一年半にわたって、毎日の買物のつり銭を少しずつためたもので、これを壬生町内で困っている人のために使ってくださいと寄付されたものです。

○善 意 銀 行  
壬生町城南の壬生小学校六年生 藤下美代子さんは、善意銀行へ金五九四円を寄付されました。



壬生町名所巡り

一里塚 (一)



交通は人間の発生と共に始まる。そして文化の向上に伴って発達する。いま県内の各所で発掘が行なわれ古代の人々が使用した石器や土器が出土している。ところが例えは石器をつくる材料に使われた原料の石が、この近辺には無量物が見られる。これは、この原石の採れる場所から運んで来(こ)るとは明らかなく、運んで来(こ)るに転んで来たものではな(い)。

この一事を見ても、その時代には、どんな道かどんな方法か知れないが、交通が行われた事がわかる。日本統一国家が出来ると都(京)都(都)や奈良、大阪に置かれた。勿論京都や奈良から離れた場所には、これなど往来するための道路が整備された。今から百年前には、バスも電車で無かったから交通は殆んどが足に頼った。特に百

1 2 6

姓は馬を飼育して、乗る事は禁せられていた。旅に出て馬に鞍を掛けて乗るとは差支えなかったようである。天下の將軍があつても籠に乗り長い行列を作つて旅をした。箱根八里で有名な峠の登り下りもあるし、大井川、天竜川等の雨のための川止に会つて一か所に数日も滞在を余儀なくされる事もあつた。

斯うした長い旅に居る時は近所親類の人が集つて旅を共にして出立して、一般の人の旅は一日に四十キロを歩いて、旅宿は泊り他の酒のり客と珍し(い)話をきかせ合(な)たり、歩(き)ながら名所を見物をして先(か)から先(か)旅を続ける。為政者もこうした旅人のために何か施設を考(え)えてやることは善政であつた。

橋を架けたり、並木を植へたり自分の狭(い)い道程(程)がわかるように一里塚を築(き)いたりする事である。

長い間登載(とうざい)して下さつた福田重臣氏は、都(京)によりやめられ、今(いま)月(げ)から八(や)八(はち)郎(ら)氏(し)「上田(か)がわつ(つ)に(に)り(り)ました」を(を)掲(か)げ(て)は、多(お)く(く)の(の)みなさん方(かた)に(に)愛(あい)読(よみ)くださる(ら)よう(う)お願(ねが)い(い)し(し)ま(ま)す。